スウェーデン地域包括ケアシステム 視察研修ツアー2017

お申し込み用パンフレット

※イメージ

医療、介護、行政などが連携した「地域包括ケアシステム」をテーマに、スウェーデンの地方都市を巡り、各自治体にて取り組まれている様々な医療サービスや介護施策の内容や現状について、現場で深く学んでいただきます。ターミナル・ケアから人生最期の時までの関わり方、家族に対する手厚いケアやサポートなどスウェーデン独自の画期的な福祉施策や制度を実際に目の当たりにしていただき、日本の高齢者福祉にとって何が必要なのか、この研修を通して、ぜひお考えいただけましたら誠に幸いです。幅広い関連職の方々より、沢山のご参加を心よりお待ち申し上げます。

訪問都市：　リンシェーピング、ヘリダ(スウェーデン) ／ コペンハーゲン(デンマーク)
旅行期間：　2017 年 11 月 26 日(日)～12 月 03(日) 8 日間
同行解説：　西嶋公子 先生（医療法人社団公朋会 西嶋医院）
募集人員：　18 名（最少催行人員 16 名）
募集締切：　2017 年 9 月 25 日(月) 15:00
旅行代金：　大人お一人様 435,000 円（ツイン、エコノミークラス利用の場合）

※燃油サーチャージ(目安 13,580 円)、現地空港諸税(概算 5,770 円)、国内空港施設使用料(2,090 円)、ならびに旅客保安サービス料(520 円)が別途必要です(いずれも 2017 年 7 月 24 日現在の額です)。

申込先 JTB 関東 法人営業熊谷支店
〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波 1-207-3 信友ビル 1F　Tel: 048-523-5514　Fax: 048-526-9693
Email: y_jitsukata804@kanto.jtb.jp　担当: 實方(じつかた) ／ 矢口 ／ 吉田
※お申込金は 80,000 円です。
(燃油サーチャージや空港税諸税等は、旅行代金残金と一緒にご請求させていただきます。)
振込先 みずほ銀行　十二号支店　株式会社 JTB 関東(ジェイティービーカントウ)　普通口座 1317033

西嶋公子先生講演
セミナーも決定！

研修企画：株式会社リバティ・インターナショナル

第164回国治研セミナー「地域包括ケアセミナー」8/27(日) <10:00～16:30予定> 開催！

受付 9:30～ 会場 東京ビッグサイト 701, 702会議室（〒135-0063 東京都江東区有3-11-1　http://www.bigsight.jp/）

西嶋公子先生　「地域包括ケアシステム ～ひとりぼっちで死なせない街づくり～」
西下彰俊先生　「スウェーデン高齢者介護に関するコミューン間格差を情報公開する10年間の取り組み」
二ノ坂保喜先生　「いのちをうけとめる町づくり ～在宅ホスピスの現場から～」
髙瀬義昌先生　「ともに生きるまちづくり ～在宅認知症ケアの実践～」 他ディスカッション、質疑応答

※最新情報については、随時弊所 HP などで更新いたします！コチラまで ⇒

プログラム送付希望の方は裏面の申込欄に必要事項を明記の上、弊所までご送信ください！
詳細内容が決定し、プログラムの完成後にご記入いただきました住所宛てに送付いたします。

お問い合わせ ▼詳細お問い合わせ、申込書付き研修パンフレットとセミナープログラム送付希望はコチラまで▼

リバティ・インターナショナル（一般社団法人 国際教育） ツアーコード: 17-009　担当: 縄手／金子
Tel: 03-6386-3865　Fax: 03-6386-3870　Email: info@iiet.co.jp　Web: http://www.iiet.co.jp

スウェーデン地域包括ケアシステム視察研修 2017 日程予定

日次	月日	都市	時間	交通	内容	食事
1	11/26(日)	東京(成田) コペンハーゲン ストックホルム リンシェーピング	08:30-10:30 09:00-11:00 11:30-13:30 15:05-17:05 17:10-19:10 18:20-20:20	 SK SK 専用車	成田空港第 1 ターミナル指定カウンター前で参加者集合 搭乗手続後、出発前ミーティング(約 1 時間予定) 成田空港出発、一路コペンハーゲン(デンマーク)へ コペンハーゲン空港到着、入国審査や税関検査後にフライト乗継 コペンハーゲン空港出発、一路ストックホルム(スウェーデン)へ ストックホルム空港到着、リンシェーピングへ移動 ホテルへチェックイン <リンシェーピング泊>	朝 - 昼機内 夕 ×
2	11/27(月)	リンシェーピング	午前 午後	専用車	各自自由行動 **［リンシェーピングにおける地域包括ケアシステム］** (コミューン独自のケア内容、福祉政策の実績と現状、サービスメニューと料金設定、民間会社委託の実例、介護職員の就業規定、ボランティア業務、ソーシャルワーカー判断基準と評価方法) <リンシェーピング泊>	朝 ○ 昼 × 夕 ×
3	11/28(火)	リンシェーピング	午前 午後	専用車	**［リンシェーピングの病院施設で行われるターミナルケア］** (ケアサービス内容、緩和ケアユニットの実際、専門職毎の役割、在宅緩和ケアの実情、ターミナルケアから遺族サポートまで) **［リンシェーピングの介護ホームケア、職員業務と運営体制］** (介護サービス詳細、認知症患者へのサポート内容、家族問題への対応、職員やボランティアの活動ルーティンと育成方法) <リンシェーピング泊>	朝 ○ 昼 × 夕 ×
4	11/29(水)	リンシェーピング ヘリダ ヨーテボリ	朝 午後 夕方	専用車	ホテルをチェックアウト、専用車でヘリダへ移動 **［ヘリダにおける地域包括ケアシステムと行政サポート］** (コミューン独自の活動内容、福祉サービス実情、地域の看取り、在宅支援、多職種協働サポート体制、行政によるトータルプラン) ヨーテボリのホテルに移動してチェックイン <ヨーテボリ泊>	朝 ○ 昼 × 夕 ×
5	11/30(木)	ヘリダ ヨーテボリ	午前 午後	専用車	**［ヘリダにおける介護施設概要、職員業務と運営体制］** (介護サービス実際、介護職員とボランティアの各職務と業務範囲、市役所との業務連携と役割分担、運営上のマネジメント) **［コミューンとランスティングの関係、利用者への情報開示］** (コミューンとランスティング相関性、役割とコラボレーション、格付けランキングや満足度調査への対応方法とその活用内容) <ヨーテボリ泊>	朝 ○ 昼 × 夕 ×
6	12/01(金)	ヨーテボリ コペンハーゲン	朝 07:40-09:40 09:25-11:25 14:00-16:00	専用車 SK 専用車	ホテルをチェックアウト、ヨーテボリ空港へ移動、搭乗手続など ヨーテボリ空港出発、一路コペンハーゲン(デンマーク)へ コペンハーゲン空港到着、コペンハーゲン市内へ移動、半日観光 ホテルに移動してチェックイン、各自自由行動 <コペンハーゲン泊>	朝 ○ 昼 × 夕 ×
7	12/02(土)	コペンハーゲン	午前 12:00-14:00 14:45-16:45	 専用車 SK	ホテルをチェックアウト、各自自由行動 コペンハーゲン空港に移動して搭乗手続および出国手続 コペンハーゲン空港出発、直行便で一路成田へ <機内泊>	朝 ○ 昼 × 夕機内
8	12/03(日)	東京(成田)	09:40-11:40	SK	成田空港帰着、一旦ロビーで集合後に解散	朝 -

日本発着時利用航空会社: スカンジナビア航空(SK) エコノミークラス

宿泊ホテル: Scandic Frimurarehotellet／リンシェーピング、Clarion Hotel／ヨーテボリ、Scandic Copenhagen／コペンハーゲン
（ツイン 2 名 1 室利用、朝食付き） 1 人部屋利用追加代金 ⇒ 51,460 円 ※6 泊分

食事条件: 朝食 6 回／昼食 0 回／夕食 0 回 ※機内食は除く。その他の食事は各自別途負担となります。

現地移動: 空港～ホテル間、ホテル(視察先)～視察先間、リンシェーピング～ヘリダ都市間は専用車で移動いたします。

時間帯の目安 朝 (06:00-9:00) ／ 午前 (9;00-12:00) ／ 午後 (12:00-15:00) ／ 夕方 (15:00-18:00) ／ 夜 (18:00-24:00)

◇◇◇現地諸事情により上記スケジュールおよび視察先、内容は急遽変更される場合がございます◇◇◇

ご旅行条件（要約）

お申し込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

●募集型企画旅行契約
この旅行は（株）ＪＴＢ関東（埼玉県さいたま市中央区新都心１１－２　観光庁長官登録旅行業第１５７８号。以下「当社」という）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期
（１）必要事項をお申し出の上、下記のお申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。
（２）電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約を承諾の旨通知した翌日から起算して３日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。
（３）旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、お申込金を受領したときに成立するものとします。
（４）お申込金（おひとり）80,000 円

●旅行代金のお支払い
旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって 21 日目にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●取消料
旅行契約成立後､お客様の都合で契約を解除されるときは､次の金額を取消料として申し受けます。
（お１人様）
＊貸切航空機を利用する旅行、日本出国時及び帰国時に船舶を利用する旅行及び旅行日程中に３泊以上のクルーズ船泊を伴う旅行に関しては、上記の表によらずコースページ内に記載する取消料に拠ります。

●旅行代金に含まれるもの

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって３１日目にあたる日まで	無料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降３日目にあたる日まで	旅行代金の２０％
旅行開始日の前々日～当日	旅行代金の５０％
旅行開始後又は無連絡不参加	旅行代金の１００％

＊旅行日程に明示した航空座席料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）、専用車費用、現地研修プログラム費用(講師謝礼、訪問施設への寄付を含む)、通訳同行費用（？日目～？日目）＊旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金（２人部屋に２人ずつの宿泊を基準とします。）＊旅行日程に明示した食事の料金及び税・サービス料金　＊航空機による手荷物運搬料金これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。

●旅行代金に含まれないもの
前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。
＊超過手荷物料金＊ポータレッジ＊クリーニング代、電話電報料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付け、その他追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金＊渡航手続関係費用＊オプショナルツアー料金＊運送機関が課す付加運賃・料金（例：燃油サーチャージ）＊日本国内の空港施設使用料＊日本国内におけるご自宅から発着空港等集合・解散時点までの交通費・宿泊費＊旅行日程中の海外空港諸税。＊旅客保安サービス料等

●特別補償
当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。
死亡補償金：２５００万円、入院見舞金：４～４０万円、通院見舞金：２～１０万円、携行品損害補償金：お客様１名につき～１５万円（但し、補償対象品１個あたり１０万円を限度とします。）

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件
当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと（以下「通信契約」といいます。）を条件にお申込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。(受託旅行業者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行業者により異なります。)
（１）契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（ｅ－mail 等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。
（２）「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。(但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して７日間以内をカード利用日として払い戻します。
（３）与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●旅券・査証について
（日本国籍以外の方は、自国の領事館、渡航先国の領事館、入国管理事務所にお問合せください。）
（１）旅券（パスポート）：シェンゲン協定加盟国出国時（スウェーデン出国時）3 ヵ月以上の旅券残存、且つ旅券の未使用査証欄が 2 頁以上必要です。また、出国用航空券が必要です。
（２）査証（ビザ）：この（パンフレット記載の）旅行には、査証は不要です。

●保健衛生について
渡航先の衛生状況については、厚生労働省「検疫感染症情報」ホームページ：http://www.forth.go.jp/でご確認ください。

●海外危険情報について
渡航先（国又は地域）によっては、外務省「海外危険情報」等、国・地域の渡航に関する情報が出されている場合があります。お申し込みの際に販売店より「海外危険情報に関する書面」をお渡しいたします。また、「外務省海外安全ページ：http://www.pubanzen.mofa.go.jp/」でもご確認ください。
また、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の危険情報や緊急時の連絡メール等を受け取れる外務省のシステム「たびレジ:https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/」へのご登録をお勧めします。

●海外旅行保険への加入について
海外において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の海外旅行保険に加入することをお勧めします。海外旅行保険については、販売店の係員にお問合せください。

●空港諸税について
渡航先の国又は地域によっては､その国の法律などにより渡航者個人に対して空港税等(出入国税、空港施設使用料、税関審査料等）などの支払が義務付けられています。表示されている旅行代金には、空港税等は含まれておりませんので、別途お支払いが必要です。(当社が日本円で収受する場合は、ご出発の３５日前に、水～土曜日発は５週間前の月曜日午前中の終値、日～火曜日発は６週間前の月曜日午前中の終値(いずれも三菱東京 UFJ 銀行売渡レート)により換算し､確定いたします。)

●事故等のお申出について
旅行中に、航空機、及びホテルに関わる事故などが生じた場合は、最終日程表でお知らせする連絡先にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

●個人情報の取扱について
（１）当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内、当社の旅行契約上の責任、事故時の費用等を担保する保険の手続き上必要な範囲内でお申込みいただいたパンフレット及び最終旅程表に記載された運送・宿泊機関等及び保険会社に対し、お申込み時にいただいた個人情報及び搭乗される航空便名に係る個人データを、予め電磁的方法等で送付することにより提供いたします。また、当社は個人情報をリバティ・インターナショナル社へ提供し、リバティ・インターナショナル社は、今後の研修及びセミナー案内送付の際に利用させていただきます。
（２）当社及び販売店は、旅行中に疾病・事故等があった場合に備え、お客様の旅行中の連絡先の方の個人情報をお伺いしています。この個人情報は、お客様に疾病等があった場合で連絡先の方へ連絡の必要があると当社が認めた場合に使用させていただきます。お客様は、連絡先の方の個人情報を当社及び販売店に提供することについて連絡先の方の同意を得るものとします。

●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は 2017 年 7 月 31 日を基準としています。又、旅行代金は 2017 年 7 月 31 日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

旅行企画・実施
株式会社 JTB 関東
観光庁長官登録旅行業第 1578 号
埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2
一般社団法人日本旅行業協会正会員
旅行業公正取引協議会会員

総合旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく記載の旅行業務取扱管理者までご質問ください。

お申し込み・お問い合わせ先
JTB 関東　法人営業熊谷支店
住所〒360-0037
埼玉県熊谷市筑波 1-207-3 信友ビル 1 階
TEL：048-523-551
FAX：048-526-9693
担当：實方(じつかた)、矢口、吉田
営業時間：月～金／09：30～17：30
※7 月 18 日(火)-8 月 31 日(木)／08：30～16：30
(土・日・祝日休業)
総合旅行業務取扱管理者：實方 喜悟

西嶋公子先生 プロフィール

富山県生まれ。東京医科歯科大学医学部卒業後、国立小児病院、国立療養所神奈川病院を経て、昭和 54 年に西嶋医院を町田市で開設。以後、地域のかかりつけ医として長年在宅医療に精力的に取り組む。「住民の、住民による、住民のための在宅ケア」を掲げて、住民グループと協働しながら市有地に 600 坪の高齢者センター建設を働きかけるなど先駆者として地域医療に多大な功績を残す。また外来診療や往診だけでなく、院内カンファレンスや住民とのふれあいを大切に積極的な活動を続けている。

西嶋公子先生よりお誘いの言葉

2014 年に日本医師会赤ひげ大賞受賞！

平成元年、ボランティアグループを結成して以来 28 年、地域医療に携わりながら住民参加の街創りを行ってきた結果、現在フォーマル／インフォーマルなサービスを組み合わせて提供出来る街に育ちました。地域包括ケアは市町村単位の一定財源でどこまで経済的で満足度の高いケアを提供できるかが課題です。スウェーデンの福祉はコミューン単位で行われており、そのシステムや問題点を学ぶことで、今後日本でどのように取り組むかが見えてくると思います。私の経験もお伝えしながら、ご一緒に学びたいと考えております。

◇研修企画◇

株式会社リバティ・インターナショナル
一般社団法人 国際教育
東京都知事登録旅行業第3-3466号　一般社団法人日本旅行業協会正会員
〒100-6509 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル9F EGG JAPAN メディカルオデッセィ内
Tel: 03-6386-3865
Fax: 03-6386-3870
営業時間: 平日09:30～18:00
※土日祝日休業
ツアーコード： 17-009
担当： 縄手／金子

◇旅行実施◇

株式会社JTB関東
観光庁長官登録旅行業第1578号　一般社団法人日本旅行業協会正会員
〒330-6016 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー16F

※個人情報の取り扱いにつきまして※

当社らは、参加申込書にご記入いただいた個人情報(氏名、住所、電話番号、メールアドレスなど)につきまして、お客様との連絡、お申し込みされた旅行における交通、運送および宿泊機関などの提供サービスを手配する為、必要範囲で利用させていただきます。

スウェーデン地域包括ケアシステム視察研修 2017（資料）

「地域におけるホスピスケアの確立をめざす」

東京都町田市
医療法人社団公朋会 西嶋医院
西嶋公子

<はじめに>

1970 年(昭和 45 年)に東京医科歯科大学を卒業して医師になった私は、国立小児病院で 100 名近い小児がんの子供達の看取りを経験し、ターミナルケアを一生の課題と考えるようになりました。死を前にした子供達の苦しみは身体的な痛みだけではなく心の痛みも強く、主治医の私にそのサポートを求めていることを感じてはいましが、20 代で死生観も定まらない私は、応えるすべもなく逃げ続けました。

1991 年(平成 3 年)デーケン先生に連れて行って頂いたアメリカ東海岸(ワシントン，ニューヨーク)のホスピスツアーで、キューブラー・ロス先生の講義を受け、その著書「ダギーへの手紙」”A Letter to a child with cancer”を手にした私は、初めてその答えをもらったと感激しました。

1979 年(昭和 54 年)に町田市で開業して 35 年経ち、今は外来診療と訪問診療(約 150 名)を行っていますが、癌・難病・老衰など成人のターミナルケアを多数経験し、患者さんとご家族の苦悩は大人も子供も全く変わらないことを実感しています。

1. デーケン先生のホスピスツアーに参加して

1991 年(平成 3 年)に初めて先生のホスピスツアーに参加して以来、2012 年(平成 24 年)のドイツ(ミュンヘン，ケルン)まで何回も参加したので日本中の多くの方達と知り合い、皆様の活動を教えていただきました。それぞれの方が、ホスピスケアに関心を持ち、目標をもって活動していらっしゃることがよくわかりました。

私自身は、ホスピスケアの中心となる学際的なチームケアでもっとも重要なのはボランティアだと考えています。ともすれば専門職のお手伝いとみなされがちですが、実際はターミナルステージの方達に寄り添い傾聴することで支えにもなり、自らが生き方・死に方を考える死の準備教育を受けることができます。

又、一方でボランティアは地域住民でもあり、いつか自分自身がケアを受ける側にまわる立場でもあります。専門職はケアを提供する一方の立場になりがちな場合があり、根本的に異なります。

私は両親の介護体験をすることで、高齢社会では圧倒的に専門職が不足する可能性が高いと考え、地域でボランティア活動を始め、住民運動を起こし、公費で高齢者在宅サービスセンターを建て、20 年間住民の理事による社会福祉法人の運営で介護保険サービスを提供してきました。現在、特別養護老人ホーム(20 床)，デイサービス，ホームヘルプサービス，ケアマネジメントセンターを持ち、地域の多くの方に利用していただいています。ここに最初から関わったボランティアの方達は 600 名～1000 名にのぼり、食事サービス(年間 38000 食)を始め、コンサート活動(年間 3 回)まで、様々な活動を行ってセンターを支えて下さっています。
地域住民は 2000 年(平成 12 年)の介護保険制度発足時に NPO をつくり、インフォーマルなサービス(電球の取り換えや庭の手入れ，小さな家の修理，ホームヘルプなど)の提供を行っています。この活動は地域包括ケアシステムの重要な一角を担います。

2. 高齢多死時代を迎える

現在日本では経済状況の悪化の中で社会保障費の増加が問題とされ、医療保険，介護保険の削減が進められています。急性期病院は在院日数の短縮を迫られ、胃瘻や膀胱留置カテーテルなど、医療的な処置を必要とする状態で在宅療養となる患者さんも増えています。長く療養できる療養型病床も削減されます。私たちは在宅で療養するか、地域の様々な施設で療養するしか選択肢はありません。

一方で町田市では今後高齢化の進む中で年間 4500～5000 名が死亡することになります。東京都の 2010 年の統計では病院で亡くなる方が 77%だったので、3500～4000 名は病院としても約 1000 名が在宅か施設が死亡場所となるでしょう。現在訪問診療を行う医師は決して多くはないので誰が診断書を書くのか心配です。まだ在宅医療に参加していない多くの診療所医師をいかに巻き込むかが課題となります。

又、今後問題になるのは高齢独居(特に女性)の方たちと、老々介護の世帯の増加です。誰にも看取られない孤立死が東京都では 6.5%にもなっています。住み慣れた家で死にたいと望む方は多いでしょうが、それは決して孤立死ではありません。

3. 地域におけるホスピスケア

私たちは、デーケン先生に多くのことを教えていただきました。私はホスピスケアの本質は患者さんご家族に寄り添い、サポートし、短い時間でもカイロス(質の高い時間)を過ごし、納得のいくお看取りを行っていただくことと考えています。独居の方でも一人ぼっちで死なせない地域にしなければならないと思います。

日本のホスピスは一定の数にはなりましたが、利用できる患者さんはごく一部にすぎません。大多数が地域で療養するとすれば、「街角のホスピス」「在宅ホスピス」を目指すしかありません。

4. 今回のスウェーデン地域包括ケアシステム視察研修について

今回、私がこの研修を企画したのは２つの目的があったからです。

①北欧のターミナルケアについて学ぶ

これまでヨーロッパでもイギリス，ドイツは何回も視察しましたが、北欧は初めてです。今回、リンシェーピングで関わっていただくエルスマリー・アンベッケン氏(メランダーレン大学)は緩和ケアを専門に研究し、高齢者施設におけるターミナルケアについてお話いただけることになっており、病院でのケアも見学できる予定です。

スウェーデンでは、医療と教育は国税で賄われており、国民の自己負担はまったくありません。又、胃瘻は一切行われず、おだやかで自然なターミナルケアが原則と言われています。北欧のターミナルケアを学ぶことで、現在の日本の状況を省みる良い機会になると思います。

②地域包括ケアシステムを準備し関わっていく

今日本では介護保険給付費が激増していることから、要支援の方たちのサービスを切り離し、市町村単位で運営する地域包括ケアシステムを導入しました。一方、スウェーデンではずっと福祉に関するサービスはコミューンの税金で賄われており、各コミューンによりサービスの対価が異なったりしています。今回、2 ヶ所のコミューンを視察しますが、その中で今後日本のシステムで考えなければならないことが確認できると思います。

特に、私が関心を持っているのは、インフォーマルなサービスです。誰が主体となり、どんなシステムがつくられているかを学ぶことで、日本でもいかせると考えます。独居の方の見守り～ターミナルのサポートまで、NPOなど市民が参加するボランティア活動はもっともニーズの高いインフォーマルなサービスなのです。

5. 地域におけるホスピスケアを確立する

先にお伝えしたように、高齢多死時代の日本ではホスピスケアを受けられる人は少数になる可能性が高く、地域格差も拡大すると思われます。

そのような状況で専門職はそれなりの努力はしてもサービスの総量は追いつかないはずです。今こそ普通の市民が自分たちの望むホスピスケアを確立するためには力を合わせ見守り寄り添う地域を作らなければなりません。これまでホスピスツアーに参加して学んできた方々やご事情により参加出来なかった方々、またホスピスケアや高齢者ケアなどに携われている全ての皆様にお願いしたいと思います。それぞれの地域で様々な活動を展開していくために、ぜひ今回の視察にご参加いただき、グループワークを行い具体的なノウハウを学びませんか？地域のお一人お一人が自分らしく過ごし、見守られながら最期を迎えられるよう、私たちのできることは必ずあると確信しています。日本各地で地域特性にあわせたホスピスケアを確立する為に、ぜひご参加いただき協働しましょう。

『スウェーデン地域包括ケアシステム視察研修 2017』
お申し込み方法と割引キャンペーンにつきまして

◇◇◇お申し込み方法につきまして◇◇◇

研修企画をリバティ・インターナショナル、旅行手配を JTB 関東が担当させていただきます。お申し込みの場合、**ツアー申込書(Fax か郵送)ご送付**、**申込金(80,000 円)ご入金**を本パンフレット表紙記載 **JTB 関東 法人営業熊谷支店**へ **9/25(月)15:00** までにお手続きください。

なお、本研修内容に関するお問い合わせは、リバティ・インターナショナル(担当: 縄手／金子)までお願い申し上げます。

◇◇◇「セミナー連動割引」および「早期お申し込み割引」につきまして◇◇◇

「セミナー連動割引」
8/27(日)開催の第 164 回国治研セミナー**『地域包括ケアセミナー』**(西嶋公子先生、西下彰俊先生、二ノ坂保喜先生、髙瀬義昌先生)と本研修の両方に、お申し込みをされた方には、本研修旅行代金より**-10,000 円**を割引させていただきます。

「早期お申し込み割引」
募集締切 1 か月前 **8/25(金)**までに、本研修にお申し込みをされた方には、本研修旅行代金より**-10,000 円**を割引させていただきます。

※上記、割引両方の併用は出来ません。
※ツアー申込書に申込日をご記入ください。
※旅行代金は全てご入金いただきますが、研修出発当日に対象の方に割引分を返金させていただきます。

8/27(日)『地域包括ケアセミナー』では、西嶋先生、二ノ坂先生、髙瀬先生による地域連携や在宅ケアの取り組み、またスウェーデン高齢者福祉に精通されている西下先生による現地事情など、本研修につながる興味深い内容を予定しております。併せて、本セミナーへの参加もご検討ください！

※ご周囲(同僚、友人、知人、家族など)で本研修およびセミナーにご興味をお持ちの方がおいでしたら、何卒ご紹介を賜りますよう心よりお願い申し上げます。
（もしくはお誘い合わせの上、一緒にご参加ください！）

皆様にご満足いただける研修とセミナーの実施を目指して、スタッフ一同より一層努力してまいりたいと存じます。ぜひ皆様の本研修およびセミナーのご参加を心よりお待ち申し上げております。

担当: 縄手／金子
リバティ・インターナショナル(一般社団法人 国際教育)
〒100-6510 東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸ビル 9F
EGG JAPAN メディカルオデッセイ内
Tel: 03-6386-3865　Fax: 03-6386-3870
Email: info@iiet.co.jp　Web: http://www.iiet.co.jp

[研修ツアー申込書]

個人情報保護の観点から、申込書を FAX する際は番号の押し間違いにご注.意頂き、送信後はお手数ですが着信のご確認をお願い致します。
ご旅行条件(要約)に記載の個人情報の取扱について、予め同意の上、申込致します。□←チェックをお願い致します。

送付先: (株)JTB 関東 法人営業熊谷支店
住所: 〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波 1-207-3 信友ビル 1 階
Fax: 048-526-9693 Email: y_jitsukata804@kanto.jtb.jp Tel: 048-523-5514 担当: 實方(じつかた) ／ 矢口 ／ 吉田

申込日： ／ ／

フリガナ 名前		性別	男・女	生年月日	昭和 ・ 平成 (西暦 年) 年 月 日
パスポート名 (ローマ字)	*※手続き書類は記載のローマ字で進めさせていただきます。* 姓 名			出生地	(都道府県)
パスポート番号				発行日	年 月 日
				失効日	年 月 日
フリガナ 自宅住所	(〒 -) 書類送付先希望 ⇒ □ ご自宅 □ お勤め先			電話	― ―
				FAX	― ―
メールアドレス	@			携帯	― ―
フリガナ 勤務先	(〒 -) 勤務先名：			職業	
				電話	― ―
				FAX	― ―
フリガナ 旅行中の国内連絡先	(〒 -) □ 現住所と同じ 氏名: 続柄:			電話	― ―
				FAX	― ―
日本国内線の希望	□ 無 □ 有 (大阪 ・ 名古屋 ・ 福岡 ・ 札幌 ・ その他[ ]) 希望日時／便名がある方は → 往路[ ] 復路[ ] **※別途手配旅行にて承ります。料金は空港ごとに異なります。**				
国際線ビジネスクラス希望	□ 無 □ 有 **※別途承ります。又、ビジネスクラス利用の追加代金が必要です。**				
1 人部屋希望	□ 無 □ 有 (追加代金 51,460 円 ※6 泊分) 同室希望者がいる方は→ [様]				
成田前泊・後泊ホテル希望	□ 無 □ 有 (前泊 ・ 後泊) **※別途手配旅行にて承ります。成田空港周辺にて手配いたします。**				
海外旅行保険加入希望	□ 無 □ 有 **※後日パンフレットおよび申込書を送付します。**				

<リバティ・インターナショナルより確認事項>

①今後リバティ・インターナショナルおよび一般社団法人国際教育(旧国際教育研究所)企画の海外研修やセミナーをご案内する際に、申込書記載の情報を利用させていただけますか？
□ 可 □ 不可

②研修時の写真等を当社 HP や次回の研修案内に掲載し、研修風景を紹介させていただけますか？(個人情報の観点から、顔は判別できないよう加工します。)
□ 可 □ 不可

③今までに研修に参加したことはありますか？
□ 有 (研修名と時期：) □ 無

④リバティ・インターナショナル『スウェーデン地域包括ケア視察研修 2017』をお知りになったのは？
□ 紹介 (様から) ／ □ DM ／ □ 専門誌 ／ □ Web ／ □ 講演会 学会 ／ □ リピーター ／ □ その他 ( )